



No. 9-1

近畿地方整備局  
事業評価監視委員会  
平成29年度第4回

あまがさきにしのみや あしや あまがさき  
尼崎西宮芦屋港尼崎地区

国際物流ターミナル整備事業

【再評価】

平成29年10月

近畿地方整備局

# 目次

1. 事業の概要	..... 2
2. 事業の必要性等に関する視点	..... 3
(1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化	
(2) 事業の整備効果	
(3) 事業の投資効果	
3. 事業の進捗の見込みの視点	..... 7
4. コスト縮減や代替案等の可能性の視点	..... 8
5. 関係自治体の意見	..... 8
6. 対応方針(原案)	..... 10

# 1. 事業の概要

## (1) 整備目的

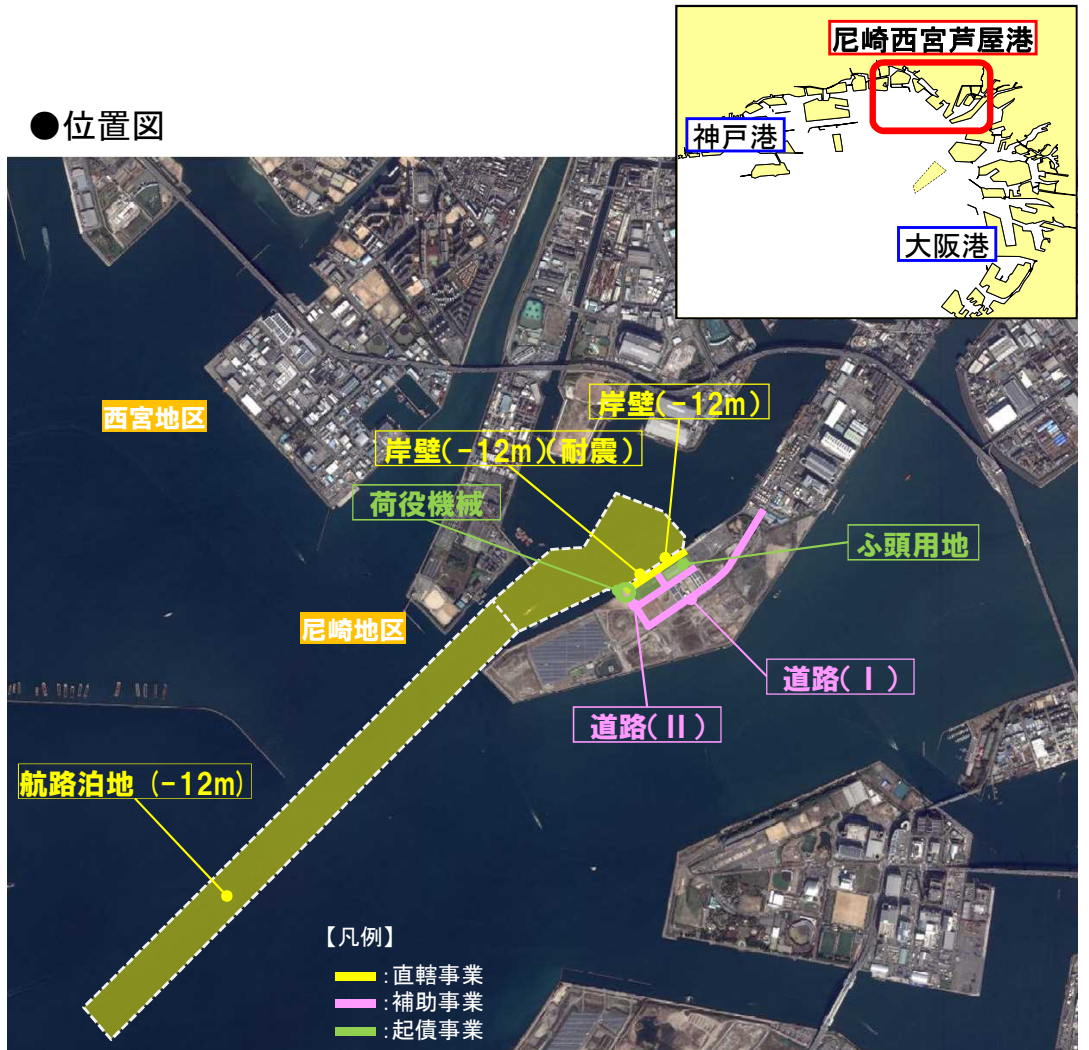
- 船舶の大型化に対応した国際物流ターミナルを整備し、背後企業の物流の効率化を図る。  
(主な対象貨物：完成自動車、鋼材、チタン鉱等)
- 耐震強化岸壁を整備し、逼迫する大規模地震に対応した地域の防災力強化を図る。

## (2) 事業概要

事業区分	施設名	数量	事業期間	事業費
直轄事業	岸壁(-12m)	480m (2バース)	H1 ~ H21	96 億円
	航路泊地(-12m)	962千m <sup>2</sup>	H5 ~ H33	82 億円
補助事業	道路(I),(II)	一式	H8 ~ H23	11 億円
起債事業	ふ頭用地,荷役機械	一式	H4 ~ H33	23 億円
計			H1 ~ H33	212 億円

## (3) 全体事業費及び事業期間の変更

- 浚渫区域において水深が浅くなっている事象が判明し、事業費の増加と事業期間を要する事となった。

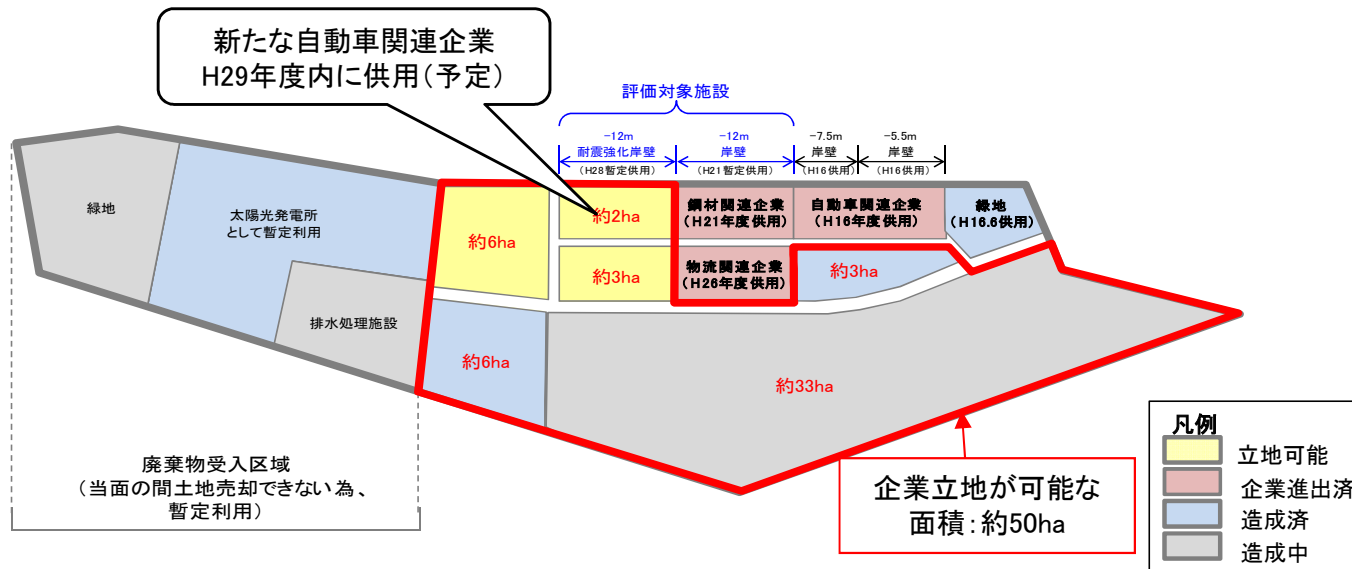


# 2. 事業の必要性等に関する視点

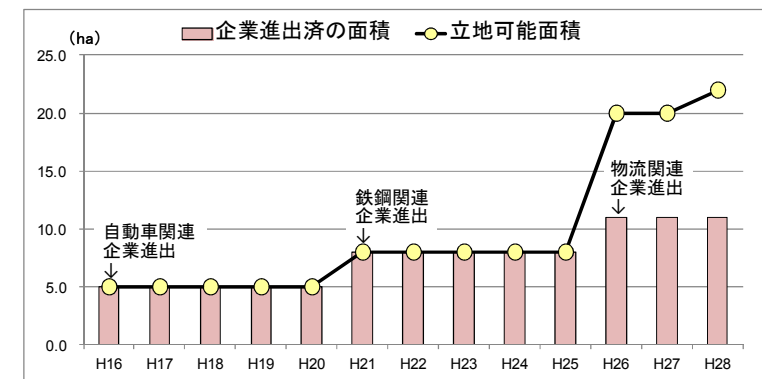
## (1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

### 1) 尼崎地区の状況

- 尼崎地区では岸壁の整備と背後の用地造成を一体的に進めてきており、岸壁の供用とともに自動車関連、鋼材関連等の企業が進出している。
- 進出している自動車関連企業の完成自動車については、西日本方面は本プロジェクトに隣接する-7.5m岸壁及び-5.5m岸壁を利用し海上輸送が行われており、関東方面は名古屋港まで陸上輸送している状況である。
- 更に、今年度には当プロジェクトの岸壁背後に新たな自動車関連企業の進出が予定されており岸壁の利用が見込まれる。



### ● 尼崎地区における企業進出の状況



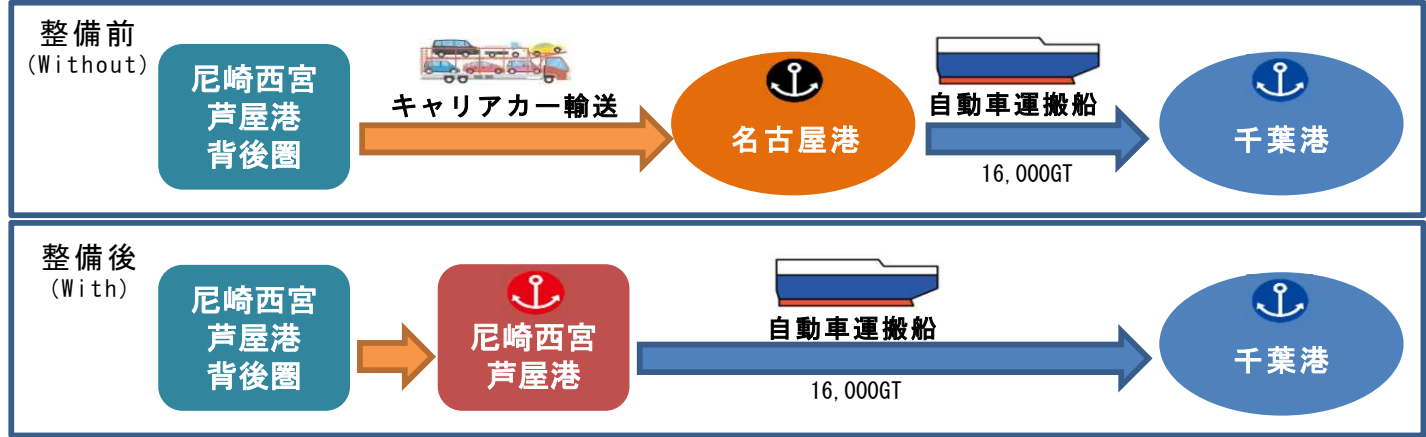
- 尼崎地区背後のチタンを扱っている企業において、本船の直接寄港ができず他港からの2次輸送を余儀なくされるなど非効率な輸送体系となっている。

# 2. 事業の必要性等に関する視点

## (2) 事業の整備効果【輸送コストの削減】

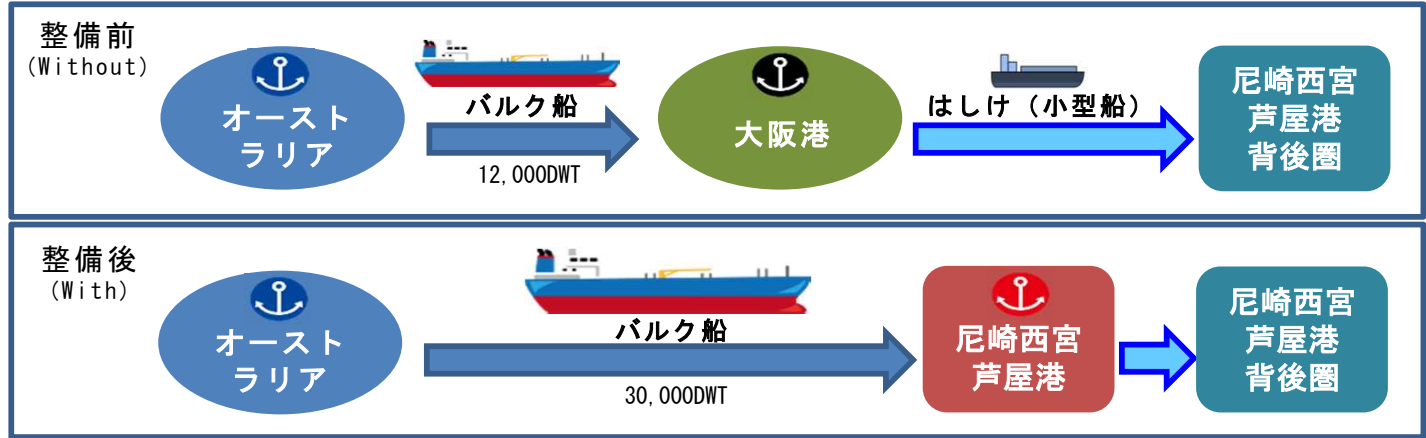
- 関東向けへ出荷している完成自動車は、本プロジェクトの実施により、尼崎西宮芦屋港へ直接入港することが可能となり、陸上輸送コストが削減される。
- 海外から輸入しているチタン鉱は、本プロジェクトの実施により、大型船舶による輸送が可能となり、海上輸送コストが削減される。

### ● 「国際物流ターミナル整備後」の完成自動車の輸送形態イメージ



完成自動車の荷役状況

### ● 「国際物流ターミナル整備後」のチタン鉱の輸送形態イメージ



輸送コスト削減便益  
24.7億円/年

# 2. 事業の必要性等に関する視点

## (2) 事業の整備効果【被災時の円滑な支援活動及び被災後の港湾物流機能の確保】

- 耐震強化岸壁については、大規模災害時に海上からの緊急物資等の受入れを行う岸壁として、各港の背後地の人口集積やアクセス状況に応じて位置づけられている。
- 本プロジェクトの耐震強化岸壁は、背後地である尼崎市を対象として整備しており、兵庫県及び尼崎市の地域防災計画にも位置づけられている。
- 本耐震強化岸壁を整備することにより、大規模地震による被災直後において、緊急物資等を海上輸送により搬入することが可能となり、被災時の円滑な活動支援を確保し被災地での住民生活の維持を図る。
- 当港を利用する港湾一般貨物についても、他港からの二次輸送を回避し港湾物流機能の確保を図る。

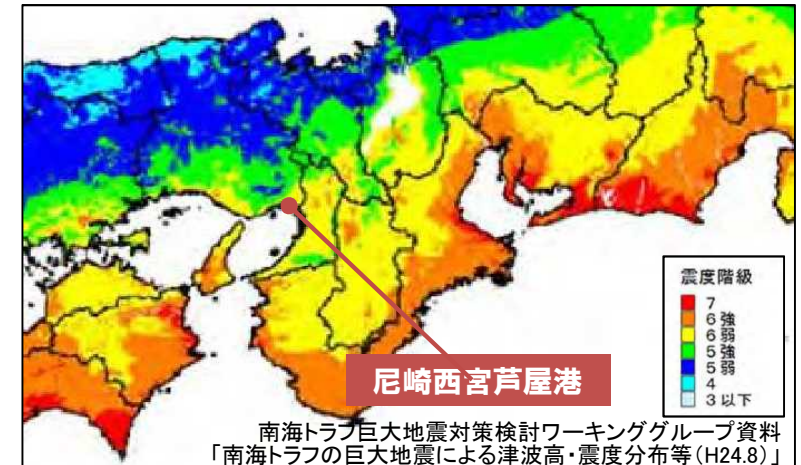
### ●大規模地震発生後の耐震強化岸壁の利用想定

震災からの経過期間	1日～1ヶ月	1ヶ月～2年
	緊急物資輸送 (生活用品等)	一般貨物輸送 (チタン鋼、鋼材他)
<b>Withoutケース</b> (当港に耐震強化岸壁が無いとした場合)	湾外→堺2区防災拠点→陸送(背後住民)	海外→舞鶴港→陸送(当港背後企業)
<b>Withケース</b> (当港に耐震強化岸壁を整備した場合)	湾外→堺2区防災拠点→海上輸送(尼崎西宮芦屋港(背後住民))	海外→尼崎西宮芦屋港→尼崎背後企業

※便益に計上した主なルートを示したものの。

※代替港は、舞鶴港以外の港湾も想定されるが、当該施設と同規模の物流ターミナルで南海トラフ地震の被害想定を踏まえつつ、輸送コストが最小となる港湾として設定。

(参考) 南海トラフ巨大地震による震度分布



尼崎西宮芦屋港においては、南海トラフ巨大地震により震度6弱が想定される。

被災時の輸送コスト削減便益  
4.0億円/年

※地震発生確率考慮後の単年度の便益額 (最大)

## 2. 事業の必要性等に関する視点

### (3) 事業の投資効果

#### ■ 便益(B)

「港湾整備事業の費用対効果分析マニュアル」に基づき、「輸送コストの削減」、「震災後の輸送コストの削減」、「残存価値」について、本プロジェクトの整備の有無それぞれについて推計し算出。

#### ■ 費用(C)

本プロジェクト整備に係る総事業費及び運営管理費を算出。

#### 1) 事業全体

便益 (B)	輸送コスト 削減便益	震災後の 輸送コスト 削減便益	残存価値	総便益	費用便益比 (B/C)
	445億円	64億円	14億円	522億円	1.2
費用 (C)	総費用(総事業費+運営管理費)				
	434億円				

#### 3) 算出条件等

基準年	: 平成29年度
検討期間	: 供用開始後50年間
現在価値算出のための 社会的割引率	: 4%
推計に用いた資料	: 港湾統計
事業費	: 212億円
運営管理費	: 0.1億円/年

#### 2) 残事業

便益 (B)	輸送コスト 削減便益	震災後の 輸送コスト 削減便益	残存価値	総便益	費用便益比 (B/C)
	335億円	—	1億円	336億円	15.2
費用 (C)	総費用(総事業費+運営管理費)				
	22億円				

※1 便益・費用については、現在価値化した値である

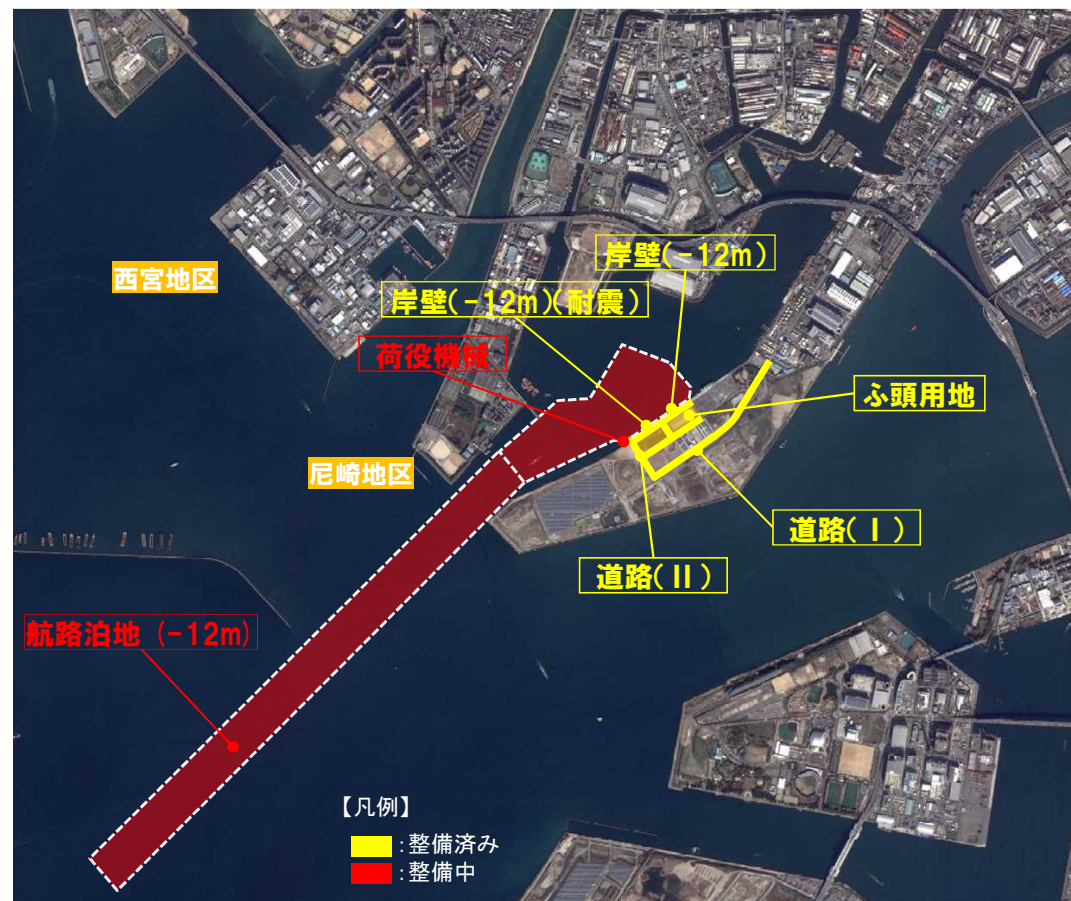
※2 便益・費用の合計値については、表示桁数の関係で計算値と一致しない場合がある

※3 残事業については、基準年の翌年度以降の残事業費及び翌年度以降の供用により発生する便益で算出している

# 3. 事業の進捗の見込みの視点

- 岸壁(-12m)や道路等の整備は完了しており、プロジェクト全体では91%（事業費ベース）まで進んでいる。
- 残事業においても平成33年度完成に向け着実に推進し事業進捗を図る。

事業区分	施設名	数量	事業期間	事業費	残事業費
直轄事業	岸壁(-12m)	480m (2バース)	H1 ~ H21	96億円	0億円
	航路泊地(-12m)	962千m <sup>2</sup>	H5 ~ H33	82億円	9億円
補助事業	道路(I),(II)	一式	H8 ~ H23	11億円	0億円
起債事業	ふ頭用地,荷役機械	一式	H4 ~ H33	23億円	10億円
計			H1 ~ H33	212億円	19億円





## 4. コスト縮減や代替案等の可能性の視点

### コスト縮減への対応(参考)

- 岸壁(-12m)を整備する際に浚渫した土砂を有効活用することでコスト削減を図ってきた。  
(約2.5億円)

## 5. 関係自治体の意見

### ■ 兵庫県知事

平成29年10月20日付 土第1470号

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

尼崎西宮芦屋港の尼崎地区は、機械・金属・化学等の製造業が立地し、阪神間の物流、産業拠点として重要な役割を担っており、本事業はこれら拠点の強化に資するものである。

また、本事業により耐震強化岸壁が完成し、災害時の緊急物資の海上輸送が可能となる拠点が確保され、地域の安全・安心が向上した。

岸壁の機能を最大限発揮するとともに、岸壁背後にある港湾関連用地において、地域経済を牽引する企業の円滑な立地を推進するためにも、残る航路・泊地の整備について、早期完成に向け取り組んでいただきたい。

なお、航路・泊地の浚渫については、尼崎沖フェニックスを処分先とし、コスト縮減にも配慮した事業進捗をお願いしたい。

# 5. 関係自治体の意見

## ■ 尼崎市

### (期待する効果)

- ・ 本市内陸部の住工混在の解消に伴う都市機能の向上並びに企業誘致による雇用増大等に伴う経済効果
- ・ 新たな企業立地による創荷や港湾機能の向上による集荷の促進に伴う経済効果
- ・ 大型船舶活用による背後立地企業の物流の効率化並びに輸送コストの削減に伴う経済効果
- ・ 被災時の円滑な支援活動に伴う市民の安全・安心の確保
- ・ 被災後の港湾物流機能の確保に伴う背後立地企業の経済活動の継続及び地域産業の安定

### (取り組み)

- ・ 商工会議所をはじめ企業団体等で構成された尼崎港振興促進協議会において、尼崎港区の整備促進並びに活用に向け、関係機関に積極的に働きかけるとともに、流通機能や港湾機能等の都市機能の向上に向けた取組みを始めている。
- ・ 兵庫県が策定した「尼崎21世紀の森構想」に基づき、南部臨海地域の活性化に向けて取り組んでいる。

## 6. 対応方針(原案)

### (1) 事業の必要性等に関する視点

- 本プロジェクトの実施により、尼崎西宮芦屋港背後圏の立地企業の陸上輸送距離の短縮等に伴い、荷主の輸送コストが削減される。
- 本プロジェクトの実施により、大規模地震発生時に震災後の緊急物資は、尼崎西宮芦屋港を利用することが可能となり、被災地での円滑な支援活動ができる。
- 費用便益比(B/C)は、全体事業で1.2、残事業で15.2である。

### (2) 事業進捗の見込みの視点

- 岸壁や道路等の整備は完了しており、プロジェクト全体では91%(事業費ベース)まで進んでいる。残りの航路泊地等の整備においても、着実に推進し事業進捗を図る予定である。



尼崎西宮芦屋港尼崎地区国際物流ターミナル整備事業は、事業の必要性等に関する視点、事業進捗の見込みの視点から継続が妥当と判断できる。引き続き事業を推進し、早期の供用を目指すことが適切である。

**事業継続**

No. 9-2  
近畿地方整備局  
事業評価監視委員会  
平成29年度第4回

あまがさきにしのみやあしや あまがさき  
尼崎西宮芦屋港尼崎地区  
国際物流ターミナル整備事業

【再評価】

平成29年10月

近畿地方整備局

















尼崎西宮芦屋港尼崎地区国際物流ターミナル整備事業（残事業）

費用便益分析シート（割引前）

		(億円)						
		割引前						
年度	施設供用期間	初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用 (C)	輸送コスト削減額	残存価値	総便益 (B)	純便益 (B-C)
2013	1							0.00
2014	2							0.00
2015	3							0.00
2016	4							0.00
2017	5							0.00
2018	6	3.24	0.09	3.33				-3.33
2019	7	1.39	0.09	1.48				-1.48
2020	8	1.39	0.09	1.48				-1.48
2021	9	9.81	0.09	9.90				-9.90
2022	10		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2023	11		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2024	12		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2025	13		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2026	14		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2027	15		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2028	16		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2029	17		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2030	18		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2031	19		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2032	20		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2033	21		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2034	22		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2035	23		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2036	24		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2037	25		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2038	26	9.26	0.09	9.35	19.59		19.59	10.24
2039	27		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2040	28		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2041	29		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2042	30		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2043	31		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2044	32		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2045	33		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2046	34		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2047	35		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2048	36		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2049	37		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2050	38		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2051	39		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2052	40		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2053	41		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2054	42	9.26	0.09	9.35	19.59		19.59	10.24
2055	43		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2056	44		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2057	45		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2058	46		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2059	47		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2060	48		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2061	49		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50
2062	50		0.09	0.09	19.59	5.89	25.48	25.39
合計		34.35	4.05	38.40	803.19	5.89	809.08	770.68

費用便益分析シート（割引後）

EIRR= 63.3% NPV= 314 億円  
B/C= 15.2

		(億円)							
		割引後							
年度	施設供用期間	社会的割引率	初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用 (C)	輸送コスト削減額	残存価値	総便益 (B)	純便益 (B-C)
2013	1	1.17							0.00
2014	2	1.12							0.00
2015	3	1.08							0.00
2016	4	1.04							0.00
2017	5	1.00							0.00
2018	6	0.96	3.11	0.10	3.21				-3.21
2019	7	0.92	1.28	0.10	1.38				-1.38
2020	8	0.89	1.24	0.08	1.32				-1.32
2021	9	0.85	8.34	0.08	8.42				-8.42
2022	10	0.82		0.07	0.07	16.06		16.06	15.99
2023	11	0.79		0.07	0.07	15.48		15.48	15.41
2024	12	0.76		0.07	0.07	14.89		14.89	14.82
2025	13	0.73		0.07	0.07	14.30		14.30	14.23
2026	14	0.70		0.06	0.06	13.71		13.71	13.65
2027	15	0.68		0.06	0.06	13.32		13.32	13.26
2028	16	0.65		0.06	0.06	12.73		12.73	12.67
2029	17	0.62		0.06	0.06	12.15		12.15	12.09
2030	18	0.60		0.05	0.05	11.75		11.75	11.70
2031	19	0.58		0.05	0.05	11.36		11.36	11.31
2032	20	0.56		0.05	0.05	10.97		10.97	10.92
2033	21	0.53		0.05	0.05	10.38		10.38	10.33
2034	22	0.51		0.05	0.05	9.99		9.99	9.94
2035	23	0.49		0.04	0.04	9.60		9.60	9.56
2036	24	0.47		0.04	0.04	9.21		9.21	9.17
2037	25	0.46		0.04	0.04	9.01		9.01	8.97
2038	26	0.44	4.10	0.04	4.14	8.62		8.62	4.48
2039	27	0.42		0.04	0.04	8.23		8.23	8.19
2040	28	0.41		0.04	0.04	8.03		8.03	7.99
2041	29	0.39		0.04	0.04	7.64		7.64	7.60
2042	30	0.38		0.03	0.03	7.44		7.44	7.41
2043	31	0.36		0.03	0.03	7.05		7.05	7.02
2044	32	0.35		0.03	0.03	6.86		6.86	6.83
2045	33	0.33		0.03	0.03	6.46		6.46	6.43
2046	34	0.32		0.03	0.03	6.27		6.27	6.24
2047	35	0.31		0.03	0.03	6.07		6.07	6.04
2048	36	0.30		0.03	0.03	5.88		5.88	5.85
2049	37	0.29		0.03	0.03	5.68		5.68	5.65
2050	38	0.27		0.02	0.02	5.29		5.29	5.27
2051	39	0.26		0.02	0.02	5.09		5.09	5.07
2052	40	0.25		0.02	0.02	4.90		4.90	4.88
2053	41	0.24		0.02	0.02	4.70		4.70	4.68
2054	42	0.23	2.10	0.02	2.12	4.51		4.51	2.39
2055	43	0.23		0.02	0.02	4.51		4.51	4.49
2056	44	0.22		0.02	0.02	4.31		4.31	4.29
2057	45	0.21		0.02	0.02	4.11		4.11	4.09
2058	46	0.20		0.02	0.02	3.92		3.92	3.90
2059	47	0.19		0.02	0.02	3.72		3.72	3.70
2060	48	0.19		0.02	0.02	3.72		3.72	3.70
2061	49	0.18		0.02	0.02	3.53		3.53	3.51
2062	50	0.17		0.02	0.02	3.33	1.00	4.33	4.31
合計			20.17	1.91	22.08	334.78	1.00	335.78	313.70

尼崎西宮芦屋港尼崎地区国際物流ターミナル整備事業（残事業）[需要+10%]

費用便益分析シート(割引前)

(億円)								
年度	施設供用期間	割引前						
		初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用 (C)	輸送コスト削減額	残存価値	総便益 (B)	純便益 (B-C)
2013	1							0.00
2014	2							0.00
2015	3							0.00
2016	4							0.00
2017	5							0.00
2018	6	3.24	0.09	3.33				-3.33
2019	7	1.39	0.09	1.48				-1.48
2020	8	1.39	0.09	1.48				-1.48
2021	9	9.81	0.09	9.90				-9.90
2022	10		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2023	11		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2024	12		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2025	13		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2026	14		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2027	15		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2028	16		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2029	17		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2030	18		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2031	19		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2032	20		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2033	21		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2034	22		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2035	23		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2036	24		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2037	25		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2038	26	9.26	0.09	9.35	21.55		21.55	12.20
2039	27		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2040	28		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2041	29		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2042	30		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2043	31		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2044	32		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2045	33		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2046	34		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2047	35		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2048	36		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2049	37		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2050	38		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2051	39		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2052	40		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2053	41		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2054	42	9.26	0.09	9.35	21.55		21.55	12.20
2055	43		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2056	44		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2057	45		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2058	46		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2059	47		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2060	48		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2061	49		0.09	0.09	21.55		21.55	21.46
2062	50		0.09	0.09	21.55	6.48	28.03	27.94
合計		34.35	4.05	38.40	883.55	6.48	890.03	851.63

費用便益分析シート(割引後)

EIRR= 67.0% NPV= 347 億円  
B/C= 16.8

(億円)									
年度	施設供用期間	社会的割引率	割引後						
			初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用 (C)	輸送コスト削減額	残存価値	総便益 (B)	純便益 (B-C)
2013	1	1.17							0.00
2014	2	1.12							0.00
2015	3	1.08							0.00
2016	4	1.04							0.00
2017	5	1.00							0.00
2018	6	0.96	3.11	0.09	3.20				-3.20
2019	7	0.92	1.28	0.08	1.36				-1.36
2020	8	0.89	1.24	0.08	1.32				-1.32
2021	9	0.85	8.34	0.08	8.42				-8.42
2022	10	0.82		0.07	0.07	17.67		17.67	17.60
2023	11	0.79		0.07	0.07	17.02		17.02	16.95
2024	12	0.76		0.07	0.07	16.38		16.38	16.31
2025	13	0.73		0.07	0.07	15.73		15.73	15.66
2026	14	0.70		0.06	0.06	15.09		15.09	15.03
2027	15	0.68		0.06	0.06	14.65		14.65	14.59
2028	16	0.65		0.06	0.06	14.01		14.01	13.95
2029	17	0.62		0.06	0.06	13.36		13.36	13.30
2030	18	0.60		0.05	0.05	12.93		12.93	12.88
2031	19	0.58		0.05	0.05	12.50		12.50	12.45
2032	20	0.56		0.05	0.05	12.07		12.07	12.02
2033	21	0.53		0.05	0.05	11.42		11.42	11.37
2034	22	0.51		0.05	0.05	10.99		10.99	10.94
2035	23	0.49		0.04	0.04	10.56		10.56	10.52
2036	24	0.47		0.04	0.04	10.13		10.13	10.09
2037	25	0.46		0.04	0.04	9.91		9.91	9.87
2038	26	0.44	4.07	0.04	4.11	9.48		9.48	5.37
2039	27	0.42		0.04	0.04	9.05		9.05	9.01
2040	28	0.41		0.04	0.04	8.84		8.84	8.80
2041	29	0.39		0.04	0.04	8.40		8.40	8.36
2042	30	0.38		0.03	0.03	8.19		8.19	8.16
2043	31	0.36		0.03	0.03	7.76		7.76	7.73
2044	32	0.35		0.03	0.03	7.54		7.54	7.51
2045	33	0.33		0.03	0.03	7.11		7.11	7.08
2046	34	0.32		0.03	0.03	6.90		6.90	6.87
2047	35	0.31		0.03	0.03	6.68		6.68	6.65
2048	36	0.30		0.03	0.03	6.47		6.47	6.44
2049	37	0.29		0.03	0.03	6.25		6.25	6.22
2050	38	0.27		0.02	0.02	5.82		5.82	5.80
2051	39	0.26		0.02	0.02	5.60		5.60	5.58
2052	40	0.25		0.02	0.02	5.39		5.39	5.37
2053	41	0.24		0.02	0.02	5.17		5.17	5.15
2054	42	0.23	2.13	0.02	2.15	4.96		4.96	2.81
2055	43	0.23		0.02	0.02	4.96		4.96	4.94
2056	44	0.22		0.02	0.02	4.74		4.74	4.72
2057	45	0.21		0.02	0.02	4.53		4.53	4.51
2058	46	0.20		0.02	0.02	4.31		4.31	4.29
2059	47	0.19		0.02	0.02	4.09		4.09	4.07
2060	48	0.19		0.02	0.02	4.09		4.09	4.07
2061	49	0.18		0.02	0.02	3.88		3.88	3.86
2062	50	0.17		0.02	0.02	3.66	1.10	4.76	4.74
合計			20.17	1.88	22.05	368.29	1.10	369.39	347.34

尼崎西宮芦屋港尼崎地区国際物流ターミナル整備事業（残事業）[需要-10%]

費用便益分析シート(割引前)

(億円)								
年度	施設供用期間	割引前						
		初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用 (C)	輸送コスト削減額	残存価値	総便益 (B)	純便益 (B-C)
2013	1							0.00
2014	2							0.00
2015	3							0.00
2016	4							0.00
2017	5							0.00
2018	6	3.24	0.09	3.33				-3.33
2019	7	1.39	0.09	1.48				-1.48
2020	8	1.39	0.09	1.48				-1.48
2021	9	9.81	0.09	9.90				-9.90
2022	10		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2023	11		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2024	12		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2025	13		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2026	14		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2027	15		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2028	16		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2029	17		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2030	18		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2031	19		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2032	20		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2033	21		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2034	22		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2035	23		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2036	24		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2037	25		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2038	26	9.26	0.09	9.35	17.64		17.64	8.29
2039	27		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2040	28		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2041	29		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2042	30		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2043	31		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2044	32		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2045	33		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2046	34		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2047	35		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2048	36		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2049	37		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2050	38		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2051	39		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2052	40		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2053	41		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2054	42	9.26	0.09	9.35	17.64		17.64	8.29
2055	43		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2056	44		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2057	45		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2058	46		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2059	47		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2060	48		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2061	49		0.09	0.09	17.64		17.64	17.55
2062	50		0.09	0.09	17.64	5.30	22.94	22.85
合計		34.35	4.05	38.40	723.24	5.30	728.54	690.14

費用便益分析シート(割引後)

EIRR= 59.4% NPV= 280 億円  
B/C= 13.7

(億円)									
年度	施設供用期間	社会的割引率	割引後						
			初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用 (C)	輸送コスト削減額	残存価値	総便益 (B)	純便益 (B-C)
2013	1	1.17							0.00
2014	2	1.12							0.00
2015	3	1.08							0.00
2016	4	1.04							0.00
2017	5	1.00							0.00
2018	6	0.96	3.11	0.09	3.20				-3.20
2019	7	0.92	1.28	0.08	1.36				-1.36
2020	8	0.89	1.24	0.08	1.32				-1.32
2021	9	0.85	8.34	0.08	8.42				-8.42
2022	10	0.82		0.07	0.07	14.46		14.46	14.39
2023	11	0.79		0.07	0.07	13.94		13.94	13.87
2024	12	0.76		0.07	0.07	13.41		13.41	13.34
2025	13	0.73		0.07	0.07	12.88		12.88	12.81
2026	14	0.70		0.06	0.06	12.35		12.35	12.29
2027	15	0.68		0.06	0.06	12.00		12.00	11.94
2028	16	0.65		0.06	0.06	11.47		11.47	11.41
2029	17	0.62		0.06	0.06	10.94		10.94	10.88
2030	18	0.60		0.05	0.05	10.58		10.58	10.53
2031	19	0.58		0.05	0.05	10.23		10.23	10.18
2032	20	0.56		0.05	0.05	9.88		9.88	9.83
2033	21	0.53		0.05	0.05	9.35		9.35	9.30
2034	22	0.51		0.05	0.05	9.00		9.00	8.95
2035	23	0.49		0.04	0.04	8.64		8.64	8.60
2036	24	0.47		0.04	0.04	8.29		8.29	8.25
2037	25	0.46		0.04	0.04	8.11		8.11	8.07
2038	26	0.44	4.10	0.04	4.14	7.76		7.76	3.62
2039	27	0.42		0.04	0.04	7.41		7.41	7.37
2040	28	0.41		0.04	0.04	7.23		7.23	7.19
2041	29	0.39		0.04	0.04	6.88		6.88	6.84
2042	30	0.38		0.03	0.03	6.70		6.70	6.67
2043	31	0.36		0.03	0.03	6.35		6.35	6.32
2044	32	0.35		0.03	0.03	6.17		6.17	6.14
2045	33	0.33		0.03	0.03	5.82		5.82	5.79
2046	34	0.32		0.03	0.03	5.64		5.64	5.61
2047	35	0.31		0.03	0.03	5.47		5.47	5.44
2048	36	0.30		0.03	0.03	5.29		5.29	5.26
2049	37	0.29		0.03	0.03	5.12		5.12	5.09
2050	38	0.27		0.02	0.02	4.76		4.76	4.74
2051	39	0.26		0.02	0.02	4.59		4.59	4.57
2052	40	0.25		0.02	0.02	4.41		4.41	4.39
2053	41	0.24		0.02	0.02	4.23		4.23	4.21
2054	42	0.23	2.10	0.02	2.12	4.06		4.06	1.94
2055	43	0.23		0.02	0.02	4.06		4.06	4.04
2056	44	0.22		0.02	0.02	3.88		3.88	3.86
2057	45	0.21		0.02	0.02	3.70		3.70	3.68
2058	46	0.20		0.02	0.02	3.53		3.53	3.51
2059	47	0.19		0.02	0.02	3.35		3.35	3.33
2060	48	0.19		0.02	0.02	3.35		3.35	3.33
2061	49	0.18		0.02	0.02	3.18		3.18	3.16
2062	50	0.17		0.02	0.02	3.00	0.90	3.90	3.88
合計			20.17	1.88	22.05	301.47	0.90	302.37	280.32

尼崎西宮芦屋港尼崎地区国際物流ターミナル整備事業（残事業）[費用+10%]

費用便益分析シート(割引前)

		割引前						
年度	施設供用期間	初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用 (C)	輸送コスト削減額	残存価値	総便益 (B)	純便益 (B-C)
2013	1							0.00
2014	2							0.00
2015	3							0.00
2016	4							0.00
2017	5							0.00
2018	6	3.56	0.10	3.66				-3.66
2019	7	1.53	0.10	1.63				-1.63
2020	8	1.53	0.10	1.63				-1.63
2021	9	10.80	0.10	10.90				-10.90
2022	10		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2023	11		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2024	12		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2025	13		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2026	14		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2027	15		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2028	16		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2029	17		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2030	18		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2031	19		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2032	20		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2033	21		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2034	22		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2035	23		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2036	24		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2037	25		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2038	26	10.19	0.10	10.29	19.59		19.59	9.30
2039	27		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2040	28		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2041	29		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2042	30		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2043	31		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2044	32		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2045	33		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2046	34		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2047	35		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2048	36		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2049	37		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2050	38		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2051	39		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2052	40		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2053	41		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2054	42	10.19	0.10	10.29	19.59		19.59	9.30
2055	43		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2056	44		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2057	45		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2058	46		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2059	47		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2060	48		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2061	49		0.10	0.10	19.59		19.59	19.49
2062	50		0.10	0.10	19.59	5.89	25.48	25.38
合計		37.80	4.50	42.30	803.19	5.89	809.08	766.78

費用便益分析シート(割引後)

EIRR= 59.8% NPV= 311 億円  
B/C= 13.8

		割引後								
年度	施設供用期間	社会的割引率	初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用 (C)	輸送コスト削減額	残存価値	総便益 (B)	純便益 (B-C)	
2013	1								0.00	
2014	2								0.00	
2015	3								0.00	
2016	4								0.00	
2017	5								0.00	
2018	6		3.42	0.10	3.52				-3.52	
2019	7		1.41	0.09	1.50				-1.50	
2020	8		1.36	0.09	1.45				-1.45	
2021	9		9.18	0.09	9.27				-9.27	
2022	10			0.08	0.08	16.06		16.06	15.98	
2023	11			0.08	0.08	15.48		15.48	15.40	
2024	12			0.08	0.08	14.89		14.89	14.81	
2025	13			0.07	0.07	14.30		14.30	14.23	
2026	14			0.07	0.07	13.71		13.71	13.64	
2027	15			0.07	0.07	13.32		13.32	13.25	
2028	16			0.07	0.07	12.73		12.73	12.66	
2029	17			0.06	0.06	12.15		12.15	12.09	
2030	18			0.06	0.06	11.75		11.75	11.69	
2031	19			0.06	0.06	11.36		11.36	11.30	
2032	20			0.06	0.06	10.97		10.97	10.91	
2033	21			0.05	0.05	10.38		10.38	10.33	
2034	22			0.05	0.05	9.99		9.99	9.94	
2035	23			0.05	0.05	9.60		9.60	9.55	
2036	24			0.05	0.05	9.21		9.21	9.16	
2037	25			0.05	0.05	9.01		9.01	8.96	
2038	26		4.48	0.04	4.52	8.62		8.62	4.10	
2039	27			0.04	0.04	8.23		8.23	8.19	
2040	28			0.04	0.04	8.03		8.03	7.99	
2041	29			0.04	0.04	7.64		7.64	7.60	
2042	30			0.04	0.04	7.44		7.44	7.40	
2043	31			0.04	0.04	7.05		7.05	7.01	
2044	32			0.04	0.04	6.86		6.86	6.82	
2045	33			0.03	0.03	6.46		6.46	6.43	
2046	34			0.03	0.03	6.27		6.27	6.24	
2047	35			0.03	0.03	6.07		6.07	6.04	
2048	36			0.03	0.03	5.88		5.88	5.85	
2049	37			0.03	0.03	5.68		5.68	5.65	
2050	38			0.03	0.03	5.29		5.29	5.26	
2051	39			0.03	0.03	5.09		5.09	5.06	
2052	40			0.03	0.03	4.90		4.90	4.87	
2053	41			0.02	0.02	4.70		4.70	4.68	
2054	42		2.34	0.02	2.36	4.51		4.51	2.15	
2055	43			0.02	0.02	4.51		4.51	4.49	
2056	44			0.02	0.02	4.31		4.31	4.29	
2057	45			0.02	0.02	4.11		4.11	4.09	
2058	46			0.02	0.02	3.92		3.92	3.90	
2059	47			0.02	0.02	3.72		3.72	3.70	
2060	48			0.02	0.02	3.72		3.72	3.70	
2061	49			0.02	0.02	3.53		3.53	3.51	
2062	50			0.02	0.02	3.33	1.00	4.33	4.31	
合計			22.19	2.10	24.29	334.78	1.00	335.78	311.49	

尼崎西宮芦屋港尼崎地区国際物流ターミナル整備事業（残事業）[費用-10%]

費用便益分析シート(割引前)

(億円)								
年度	施設供用期間	割引前						
		初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用(C)	輸送コスト削減額	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
2013	1							0.00
2014	2							0.00
2015	3							0.00
2016	4							0.00
2017	5							0.00
2018	6	2.92	0.08	3.00				-3.00
2019	7	1.25	0.08	1.33				-1.33
2020	8	1.25	0.08	1.33				-1.33
2021	9	8.83	0.08	8.91				-8.91
2022	10		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2023	11		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2024	12		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2025	13		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2026	14		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2027	15		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2028	16		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2029	17		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2030	18		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2031	19		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2032	20		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2033	21		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2034	22		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2035	23		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2036	24		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2037	25		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2038	26	8.33	0.08	8.41	19.59		19.59	11.18
2039	27		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2040	28		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2041	29		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2042	30		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2043	31		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2044	32		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2045	33		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2046	34		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2047	35		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2048	36		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2049	37		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2050	38		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2051	39		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2052	40		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2053	41		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2054	42	8.33	0.08	8.41	19.59		19.59	11.18
2055	43		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2056	44		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2057	45		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2058	46		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2059	47		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2060	48		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2061	49		0.08	0.08	19.59		19.59	19.51
2062	50		0.08	0.08	19.59	5.89	25.48	25.40
合計		30.91	3.60	34.51	803.19	5.89	809.08	774.57

費用便益分析シート(割引後)

EIRR= 67.4% NPV= 316 億円  
B/C= 16.9

(億円)									
年度	施設供用期間	社会的割引率	割引後						
			初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用(C)	輸送コスト削減額	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
2013	1		1.17						0.00
2014	2		1.12						0.00
2015	3		1.08						0.00
2016	4		1.04						0.00
2017	5		1.00						0.00
2018	6		0.96	2.80	0.08	2.88			-2.88
2019	7		0.92	1.15	0.07	1.22			-1.22
2020	8		0.89	1.11	0.07	1.18			-1.18
2021	9		0.85	7.51	0.07	7.58			-7.58
2022	10		0.82		0.07	0.07	16.06	16.06	15.99
2023	11		0.79		0.06	0.06	15.48	15.48	15.42
2024	12		0.76		0.06	0.06	14.89	14.89	14.83
2025	13		0.73		0.06	0.06	14.30	14.30	14.24
2026	14		0.70		0.06	0.06	13.71	13.71	13.65
2027	15		0.68		0.05	0.05	13.32	13.32	13.27
2028	16		0.65		0.05	0.05	12.73	12.73	12.68
2029	17		0.62		0.05	0.05	12.15	12.15	12.10
2030	18		0.60		0.05	0.05	11.75	11.75	11.70
2031	19		0.58		0.05	0.05	11.36	11.36	11.31
2032	20		0.56		0.04	0.04	10.97	10.97	10.93
2033	21		0.53		0.04	0.04	10.38	10.38	10.34
2034	22		0.51		0.04	0.04	9.99	9.99	9.95
2035	23		0.49		0.04	0.04	9.60	9.60	9.56
2036	24		0.47		0.04	0.04	9.21	9.21	9.17
2037	25		0.46		0.04	0.04	9.01	9.01	8.97
2038	26		0.44	3.67	0.04	3.71	8.62	8.62	4.91
2039	27		0.42		0.03	0.03	8.23	8.23	8.20
2040	28		0.41		0.03	0.03	8.03	8.03	8.00
2041	29		0.39		0.03	0.03	7.64	7.64	7.61
2042	30		0.38		0.03	0.03	7.44	7.44	7.41
2043	31		0.36		0.03	0.03	7.05	7.05	7.02
2044	32		0.35		0.03	0.03	6.86	6.86	6.83
2045	33		0.33		0.03	0.03	6.46	6.46	6.43
2046	34		0.32		0.03	0.03	6.27	6.27	6.24
2047	35		0.31		0.02	0.02	6.07	6.07	6.05
2048	36		0.30		0.02	0.02	5.88	5.88	5.86
2049	37		0.29		0.02	0.02	5.68	5.68	5.66
2050	38		0.27		0.02	0.02	5.29	5.29	5.27
2051	39		0.26		0.02	0.02	5.09	5.09	5.07
2052	40		0.25		0.02	0.02	4.90	4.90	4.88
2053	41		0.24		0.02	0.02	4.70	4.70	4.68
2054	42		0.23	1.92	0.02	1.94	4.51	4.51	2.57
2055	43		0.23		0.02	0.02	4.51	4.51	4.49
2056	44		0.22		0.02	0.02	4.31	4.31	4.29
2057	45		0.21		0.02	0.02	4.11	4.11	4.09
2058	46		0.20		0.02	0.02	3.92	3.92	3.90
2059	47		0.19		0.02	0.02	3.72	3.72	3.70
2060	48		0.19		0.02	0.02	3.72	3.72	3.70
2061	49		0.18		0.01	0.01	3.53	3.53	3.52
2062	50		0.17		0.01	0.01	3.33	1.00	4.33
合計			18.16	1.67	19.83	334.78	1.00	335.78	315.95



尼崎西宮芦屋港尼崎地区国際物流ターミナル整備事業（残事業）[工期+10%]

費用便益分析シート(割引前)

(億円)									
年度	施設供用期間	割 引 前							
		初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用 (C)	輸送コスト削減額	残存価値	総便益 (B)	純便益 (B-C)	
2013	1							0.00	
2014	2							0.00	
2015	3							0.00	
2016	4							0.00	
2017	5							0.00	
2018	6	2.59	0.09	2.68				-2.68	
2019	7	1.11	0.09	1.20				-1.20	
2020	8	1.11	0.09	1.20				-1.20	
2021	9	7.85	0.09	7.94				-7.94	
2022	10	3.17	0.09	3.26				-3.26	
2023	11		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2024	12		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2025	13		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2026	14		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2027	15		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2028	16		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2029	17		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2030	18		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2031	19		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2032	20		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2033	21		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2034	22		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2035	23		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2036	24		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2037	25		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2038	26		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2039	27	9.26	0.09	9.35	19.59		19.59	10.24	
2040	28		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2041	29		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2042	30		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2043	31		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2044	32		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2045	33		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2046	34		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2047	35		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2048	36		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2049	37		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2050	38		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2051	39		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2052	40		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2053	41		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2054	42		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2055	43	9.26	0.09	9.35	19.59		19.59	10.24	
2056	44		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2057	45		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2058	46		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2059	47		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2060	48		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2061	49		0.09	0.09	19.59		19.59	19.50	
2062	50		0.09	0.09	19.59	5.89	25.48	25.39	
合 計		34.35	4.05	38.40	783.60	0.00	5.89	789.49	751.09

費用便益分析シート(割引後)

EIRR= 52.7% NPV= 298 億円  
B/C= 14.8

(億円)									
年度	施設供用期間	割 引 後							
		社会的割引率	初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用 (C)	輸送コスト削減額	残存価値	総便益 (B)	純便益 (B-C)
2013	1								0.00
2014	2								0.00
2015	3								0.00
2016	4								0.00
2017	5								0.00
2018	6	1.17	2.49	0.09	2.58				-2.58
2019	7	1.12	1.02	0.08	1.10				-1.10
2020	8	1.08	0.99	0.08	1.07				-1.07
2021	9	1.04	6.67	0.08	6.75				-6.75
2022	10	1.00	2.60	0.07	2.67				-2.67
2023	11	0.96		0.07	0.07	15.48	15.48	15.41	
2024	12	0.92		0.07	0.07	14.89	14.89	14.82	
2025	13	0.89		0.07	0.07	14.30	14.30	14.23	
2026	14	0.85		0.06	0.06	13.71	13.71	13.65	
2027	15	0.82		0.06	0.06	13.26	13.26	13.20	
2028	16	0.79		0.06	0.06	12.73	12.73	12.67	
2029	17	0.76		0.06	0.06	12.15	12.15	12.09	
2030	18	0.73		0.05	0.05	11.75	11.75	11.70	
2031	19	0.70		0.05	0.05	11.36	11.36	11.31	
2032	20	0.68		0.05	0.05	10.97	10.97	10.92	
2033	21	0.65		0.05	0.05	10.38	10.38	10.33	
2034	22	0.62		0.05	0.05	9.99	9.99	9.94	
2035	23	0.60		0.04	0.04	9.60	9.60	9.56	
2036	24	0.58		0.04	0.04	9.21	9.21	9.17	
2037	25	0.56		0.04	0.04	9.01	9.01	8.97	
2038	26	0.53		0.04	0.04	8.62	8.62	8.58	
2039	27	0.51	3.89	0.04	3.93	8.23	8.23	4.30	
2040	28	0.49		0.04	0.04	8.03	8.03	7.99	
2041	29	0.47		0.04	0.04	7.64	7.64	7.60	
2042	30	0.46		0.03	0.03	7.44	7.44	7.41	
2043	31	0.44		0.03	0.03	7.05	7.05	7.02	
2044	32	0.42		0.03	0.03	6.86	6.86	6.83	
2045	33	0.41		0.03	0.03	6.46	6.46	6.43	
2046	34	0.39		0.03	0.03	6.27	6.27	6.24	
2047	35	0.38		0.03	0.03	6.07	6.07	6.04	
2048	36	0.36		0.03	0.03	5.88	5.88	5.85	
2049	37	0.35		0.03	0.03	5.68	5.68	5.65	
2050	38	0.33		0.02	0.02	5.29	5.29	5.27	
2051	39	0.32		0.02	0.02	5.09	5.09	5.07	
2052	40	0.31		0.02	0.02	4.90	4.90	4.88	
2053	41	0.29		0.02	0.02	4.70	4.70	4.68	
2054	42	0.27		0.02	0.02	4.51	4.51	4.49	
2055	43	0.26	2.13	0.02	2.15	4.51	4.51	2.36	
2056	44	0.24		0.02	0.02	4.31	4.31	4.29	
2057	45	0.23		0.02	0.02	4.11	4.11	4.09	
2058	46	0.22		0.02	0.02	3.92	3.92	3.90	
2059	47	0.21		0.02	0.02	3.72	3.72	3.70	
2060	48	0.20		0.02	0.02	3.53	3.53	3.51	
2061	49	0.19		0.02	0.02	3.33	3.33	3.31	
2062	50	0.18		0.02	0.02	1.00	4.33	298.05	
合 計		19.79	1.88	21.67	318.72	1.00	319.72	298.05	

尼崎西宮芦屋港尼崎地区国際物流ターミナル整備事業（残事業）[工期-10%]

費用便益分析シート(割引前)

年度	施設供用期間	割引前							総便益 (B)	純便益 (B-C)
		初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用 (C)	輸送コスト削減額	残存価値				
2013	1								0.00	
2014	2								0.00	
2015	3								0.00	
2016	4								0.00	
2017	5								0.00	
2018	6	6.51	0.09	6.60				19.59	-6.60	
2019	7	4.66	0.09	4.75				19.59	-4.75	
2020	8	4.66	0.09	4.75				19.59	-4.75	
2021	9		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2022	10		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2023	11		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2024	12		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2025	13		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2026	14		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2027	15		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2028	16		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2029	17		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2030	18		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2031	19		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2032	20		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2033	21		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2034	22		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2035	23		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2036	24		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2037	25	9.26	0.09	9.35	19.59			19.59	10.24	
2038	26		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2039	27		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2040	28		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2041	29		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2042	30		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2043	31		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2044	32		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2045	33		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2046	34		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2047	35		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2048	36		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2049	37		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2050	38		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2051	39		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2052	40		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2053	41	9.26	0.09	9.35	19.59			19.59	10.24	
2054	42		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2055	43		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2056	44		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2057	45		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2058	46		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2059	47		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2060	48		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2061	49		0.09	0.09	19.59			19.59	19.50	
2062	50		0.09	0.09	19.59	5.89	25.48	25.39		
合計		34.35	4.05	38.40	822.78	0.00	5.89	828.67	790.27	

費用便益分析シート(割引後)

EIRR= 64.2% NPV= 329 億円  
B/C= 15.3

年度	施設供用期間	割引後							総便益 (B)	純便益 (B-C)
		社会的割引率	初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用 (C)	輸送コスト削減額	残存価値			
2013	1	1.17							0.00	
2014	2	1.12							0.00	
2015	3	1.08							0.00	
2016	4	1.04							0.00	
2017	5	1.00							0.00	
2018	6	0.96	6.25	0.09	6.34			16.65	-6.34	
2019	7	0.92	4.29	0.08	4.37			16.06	-4.37	
2020	8	0.89	4.15	0.08	4.23			15.48	-4.23	
2021	9	0.85		0.08	0.08	16.65		16.65	16.57	
2022	10	0.82		0.07	0.07	16.06		16.06	15.99	
2023	11	0.79		0.07	0.07	15.48		15.48	15.41	
2024	12	0.76		0.07	0.07	14.89		14.89	14.82	
2025	13	0.73		0.07	0.07	14.30		14.30	14.23	
2026	14	0.70		0.06	0.06	13.71		13.71	13.65	
2027	15	0.68		0.06	0.06	13.32		13.32	13.26	
2028	16	0.65		0.06	0.06	12.73		12.73	12.67	
2029	17	0.62		0.06	0.06	12.15		12.15	12.09	
2030	18	0.60		0.05	0.05	11.75		11.75	11.70	
2031	19	0.58		0.05	0.05	11.36		11.36	11.31	
2032	20	0.56		0.05	0.05	10.97		10.97	10.92	
2033	21	0.53		0.05	0.05	10.38		10.38	10.33	
2034	22	0.51		0.05	0.05	9.99		9.99	9.94	
2035	23	0.49		0.04	0.04	9.60		9.60	9.56	
2036	24	0.47		0.04	0.04	9.21		9.21	9.17	
2037	25	0.46	4.26	0.04	4.30	9.01		9.01	4.71	
2038	26	0.44		0.04	0.04	8.62		8.62	8.58	
2039	27	0.42		0.04	0.04	8.23		8.23	8.19	
2040	28	0.41		0.04	0.04	8.03		8.03	7.99	
2041	29	0.39		0.04	0.04	7.64		7.64	7.60	
2042	30	0.38		0.03	0.03	7.44		7.44	7.41	
2043	31	0.36		0.03	0.03	7.05		7.05	7.02	
2044	32	0.35		0.03	0.03	6.86		6.86	6.83	
2045	33	0.33		0.03	0.03	6.46		6.46	6.43	
2046	34	0.32		0.03	0.03	6.27		6.27	6.24	
2047	35	0.31		0.03	0.03	6.07		6.07	6.04	
2048	36	0.30		0.03	0.03	5.88		5.88	5.85	
2049	37	0.29		0.03	0.03	5.68		5.68	5.65	
2050	38	0.27		0.02	0.02	5.29		5.29	5.27	
2051	39	0.26		0.02	0.02	5.09		5.09	5.07	
2052	40	0.25		0.02	0.02	4.90		4.90	4.88	
2053	41	0.24	2.22	0.02	2.24	4.70		4.70	2.46	
2054	42	0.23		0.02	0.02	4.51		4.51	4.49	
2055	43	0.23		0.02	0.02	4.51		4.51	4.49	
2056	44	0.22		0.02	0.02	4.31		4.31	4.29	
2057	45	0.21		0.02	0.02	4.11		4.11	4.09	
2058	46	0.20		0.02	0.02	3.92		3.92	3.90	
2059	47	0.19		0.02	0.02	3.72		3.72	3.70	
2060	48	0.19		0.02	0.02	3.72		3.72	3.70	
2061	49	0.18		0.02	0.02	3.53		3.53	3.51	
2062	50	0.17		0.02	0.02	3.33	1.00	4.33	4.31	
合計			21.17	1.88	23.05	351.43	1.00	352.43	329.38	

尼崎西宮芦屋港 尼崎地区 国際物流ターミナル整備事業  
費用便益の概要

便益

項目	区分	単位当りの便益			便益(代表年)	
			単位	備考		単位
利用者便益	輸送コストの削減	1,447	円/トン・年	船舶の大型化等に伴う輸送コストの削減	24.7	億円/年
耐震便益	輸送コストの削減	232	円/トン・年	耐震強化に係る震災直後の輸送コストの削減 ※地震発生確率考慮	4.0	億円/年

\* 便益の算出にあたっては、「港湾整備事業の費用対効果分析マニュアル」を参照

費用

費用項目	建設費、管理運営費 等
事業の対象施設	岸壁(-12m)、岸壁(-12m)(耐震)、航路泊地(-12m) 等

## 〔内貿バルク貨物による輸送コスト削減便益〕(鋼材①)

鋼材を輸送する海上・陸上輸送費用の削減額を算出する。Without時の代替港は実績により堺泉北港として設定し、取扱貨物量は、65千トン／年と予測。対象プロジェクトの実施により、1.8億円／年の輸送コストが削減可能となる。

## 【陸上輸送費用】

項 目	With時	Without時
	尼崎西宮芦屋港	堺泉北港
貨物取扱量(千ト／年)	65	65
輸送距離(km)	0.0	58.0
高速道路走行費用(円／台)	0	1,889
陸上輸送費用原単位(円／台)	0	25,370
使用台数(台)	6,500	6,500
陸上輸送費用(千円／年)	0	177,183
陸上輸送費用削減便益(計)(千円／年)		177,183

## 【海上輸送費用】

項 目	With時	Without時
	尼崎西宮芦屋港	堺泉北港
貨物取扱量(千ト／年)	65	65
使用船型	499GT	499GT
年間寄港回数(回／年)	59.1	59.1
海上輸送費用原単位(千円／日・隻)	707	707
海上距離(マイル)	92～106	97～111
海上輸送費用(千円／年)	16,878	17,714
海上輸送費用削減便益(計)(千円／年)		836
便益額【鋼材①】(計)(千円／年)		178,019

## 〔内貿バルク貨物による輸送コスト削減便益〕(完成自動車)

完成自動車を輸送する海上・陸上輸送費用の削減額を算出する。Without時の代替港は実績により尼崎西宮芦屋港、名古屋港として設定し、取扱貨物量は、283千台／年と予測。対象プロジェクトの実施により、17.7億円／年の輸送コストが削減可能となる。

## 【陸上輸送費用】

項 目	With時	Without時
	尼崎西宮芦屋港	尼崎西宮芦屋港、名古屋港
貨物取扱量(千台／年)	283	283
輸送距離(km)	15.9～16.3	15.9～163.2
高速道路走行費用(円／台)	0～1,889	0～5,963
陸上輸送費用原単位(円／台)	22,360	22,360～62,340
トレーラー台数(台／年)	70,677	70,677
陸上輸送費用(千円／年)	1,619,629	2,974,948
陸上輸送費用削減便益(計)(千円／年)		1,355,319

## 【海上輸送費用】

項 目	With時	Without時
	尼崎西宮芦屋港	尼崎西宮芦屋港、名古屋港
貨物取扱量(千台／年)	283	283
使用船型	12,800GT～16,053GT	3,206GT～16,053GT
海上輸送費用原単位(千円／台)	18～46	28～59
海上距離(マイル)	84～371	84～232
海上輸送費用(千円／年)	2,758,868	3,172,185
海上輸送費用削減便益(計)(千円／年)		413,317
便益額【完成自動車】(計)(千円／年)		1,768,636

## 〔外貿バルク貨物による輸送コスト削減便益〕(原塩)

原塩を輸送する海上輸送費用の削減額を算出する。Without時の代替港は実績により大阪港(梅町岸壁)として設定し、取扱貨物量は、46千トン/年と予測。対象プロジェクトの実施により、0.4億円/年の輸送コストが削減可能となる。

## 【海上輸送費用①】

項 目	With時	Without時
	尼崎西宮芦屋港	大阪港(梅町)
貨物取扱量(千ト/年)	46	46
使用船型	30,000DWT	12,000DWT
年間寄港回数(回/年)	1.5	3.8
海上輸送費用原単位(千円/日・隻)	2,796	1,976
海上距離(マイル)	4,411	4,411
海上輸送費用(千円/年)	53,515	95,812
海上輸送費用削減便益(計)(千円/年)		42,297

## 【海上輸送費用②】

項 目	With時	Without時
	尼崎西宮芦屋港	大阪港(梅町)
貨物取扱量(千ト/年)	46	46
使用船型	500DWT	500DWT
年間寄港回数(回/年)	92	92
海上輸送費用原単位(千円/日・隻)	560	560
海上距離(マイル)	1	5
海上輸送費用(千円/年)	215	1,073
海上輸送費用削減便益(計)(千円/年)		858
便益額【原塩】(計)(千円/年)		43,155

## 〔外貿バルク貨物による輸送コスト削減便益〕(チタン鉱)

チタン鉱を輸送する海上・陸上輸送費用の削減額を算出する。Without時の代替港は実績により大阪港(梅町岸壁)として設定し、取扱貨物量は、150千トン/年と予測。対象プロジェクトの実施により、1.4億円/年の輸送コストが削減可能となる。

## 【海上輸送費用①】

項 目	With時	Without時
	尼崎西宮芦屋港	大阪港(梅町)
貨物取扱量(千ト/年)	150	150
使用船型	30,000DWT	12,000DWT
年間寄港回数(回/年)	5	12.5
海上輸送費用原単位(千円/日・隻)	2,796	1,976
海上距離(マイル)	4,411	4,411
海上輸送費用(千円/年)	178,385	315,172
海上輸送費用削減便益(計)(千円/年)		136,787

## 【海上輸送費用②】

項 目	With時	Without時
	尼崎西宮芦屋港	大阪港(梅町)
貨物取扱量(千ト/年)	150	150
使用船型	500DWT	500DWT
年間寄港回数(回/年)	300	300
海上輸送費用原単位(千円/日・隻)	560	560
海上距離(マイル)	1	5
海上輸送費用(千円/年)	700	3,500
海上輸送費用削減便益(計)(千円/年)		2,800
便益額【チタン鉱】(計)(千円/年)		139,587

## 〔外貿バルク貨物による輸送コスト削減便益〕(鋼材②)

鋼材を輸送する海上・陸上輸送費用の削減額を算出する。Without時の代替港は実績により堺泉北港として設定し、取扱貨物量は、8千トン／年と予測。対象プロジェクトの実施により、0.1億円／年の輸送コストが削減可能となる。

## 【陸上輸送費用】

項 目	With時	Without時
	尼崎西宮芦屋港	堺泉北港
貨物取扱量(千トン／年)	8	8
輸送距離(km)	12	65
高速道路走行費用(円／台)	1,889	1,889
陸上輸送費用原単位(円／台)	15,380	27,870
使用台数(台)	800	800
陸上輸送費用(千円／年)	13,815	23,807
陸上輸送費用削減便益(計)(千円／年)		9,992

## 【海上輸送費用】

項 目	With時	Without時
	尼崎西宮芦屋港	堺泉北港
貨物取扱量(千トン／年)	8	8
使用船型	30,000DWT	30,000DWT
年間寄港回数(回／年)	0.3	0.3
海上輸送費用原単位(千円／日・隻)	2,796	2,796
海上距離(マイル)	5,906	5,902
海上輸送費用(千円／年)	14,335	14,327
海上輸送費用削減便益(計)(千円／年)		-8
便益額【鋼材②】(計)(千円／年)		9,984

## 〔内貿バルク貨物による輸送コスト削減便益〕(鋼材③)

鋼材を輸送する陸上輸送費用の削減額を算出する。Without時は陸上輸送として設定し、取扱貨物量は、21千トン／年と予測。対象プロジェクトの実施により、3.3億円／年の輸送コストが削減可能となる。

## 【陸上輸送費用】

項 目	With時	Without時
	尼崎西宮芦屋港	陸上輸送
貨物取扱量(千トン／年)	21	21
輸送距離(km)	12	1,010
高速道路走行費用(円／台)	1,889	17,991
陸上輸送費用原単位(円／台)	15,380	167,460
使用台数(台)	2,100	2,100
陸上輸送費用(千円／年)	36,265	389,447
陸上輸送費用削減便益(計)(千円／年)		353,182

## 【海上輸送費用】

項 目	With時	Without時
	尼崎西宮芦屋港	陸上輸送
貨物取扱量(千トン／年)	21	21
使用船型	499GT	-
年間寄港回数(回／年)	23	-
海上輸送費用原単位(千円／日・隻)	707	-
海上距離(マイル)	364	-
海上輸送費用(千円／年)	25,039	-
海上輸送費用削減便益(計)(千円／年)		-25,039
便益額【鋼材③】(計)(千円／年)		328,143

輸送コスト削減便益【全貨物】 合計額(千円／年)	2,467,524
--------------------------	-----------

## 〔震災後の緊急物資の輸送コスト削減便益〕

耐震強化岸壁の整備に伴い、被災後一ヶ月に必要とされる緊急物資の輸送費用の削減額を算出する。取扱貨物量を9,141トン／年と予測。プロジェクトの実施により、0.5億円／年(地震発生確率考慮後は最大で0.02億円／年)の輸送費用が削減可能となる。

## 【航空輸送費用】

項 目	With時	Without時
	尼崎西宮芦屋港	堺泉北港(堺2区)
貨物取扱量(トン／年)	106	106
ヘリコプター1台当たりの輸送回数(回)	36	36
ヘリコプター1台当たりの輸送費用(千円／回)	2,641	2,641
輸送費用(千円／年)	95,058	95,058
輸送費用削減便益(計)(千円／年)		0

## 【航空輸送時間費用】

項 目	With時	Without時
	尼崎西宮芦屋港	堺泉北港(堺2区)
輸送時間(時間)	1	1
時間費用原単位(円／時・トン)	122	122
時間費用(千円／年)	20	20
輸送費用削減便益(計)(千円／年)		0
便益額(計)(千円／年)		0

## 【陸上輸送費用】

項 目	With時	Without時
	尼崎西宮芦屋港	堺泉北港(堺2区)
貨物取扱量(トン／年)	9,035	9,035
輸送距離(km)	13	23
陸上輸送費用原単位(円／台)	732	10,990
使用台数(台／年)	10	3,012
陸上輸送費用(千円／年)	220	38,792
陸上輸送費用削減便益(計)(千円／年)		38,572

## 【陸上／海上輸送時間費用】

項 目	With時	Without時
	尼崎西宮芦屋港	堺泉北港(堺2区)
輸送時間(時間)	0.7	4.1
時間費用(千円／年)	3,295	19,304
陸上／海上輸送費用削減便益(計)(千円／年)		16,009

注) without時: 陸送 with時: 海送

便益額【緊急物資】(計)(千円／年)	54,581
輸送コスト削減便益額【緊急物資】(計)(千円／年) (震災後－緊急物資輸送)	54,581
(地震発生確率考慮後)輸送コスト削減便益額【緊急物資】(計)(千円／年) (震災後－緊急物資輸送)※	1,500

※)地震発生確率考慮後の便益額は、評価期間中の最大年(H40)の値。

## 【資料 3-5】

耐震強化岸壁の整備に伴い、一般貨物は岸壁が復旧されるまでの2年間について、輸送費用の削減額を算出する。取扱貨物量は、通常時と同じである。

〔震災後の内貿バルク貨物による輸送コスト増大回避〕(鋼材①)

## 【陸上輸送費用】

項 目	With時	Without時
	尼崎西宮芦屋港	陸上輸送
貨物取扱量(千ト/年)	65	65
輸送距離(km)	-	399.2~464.2
高速道路走行費用(円/台)	-	6,361~7,537
陸上輸送費用原単位(円/台)	-	78,410~89,370
使用台数(台/年)	-	6,500
陸上輸送費用(千円/年)	-	582,565
陸上輸送費用削減便益(計)(千円/年)		582,565

## 【海上輸送費用】

項 目	With時	Without時
	尼崎西宮芦屋港	陸上輸送
貨物取扱量(千ト/年)	65	65
使用船型	499GT	-
年間寄港回数(回/年)	59.1	-
海上輸送費用原単位(千円/日・隻)	707	-
海上距離(マイル)	92~106	-
海上輸送費用(千円/年)	16,878	-
海上輸送費用削減便益(計)(千円/年)		-16,878
便益額【鋼材①】(計)(千円/年)		565,687

〔震災後の内貿バルク貨物による輸送コスト増大回避〕(完成自動車)

## 【陸上輸送費用】

項 目	With時	Without時
	尼崎西宮芦屋港	陸上輸送
貨物取扱量(千台数/年)	283	283
輸送距離(km)	15.9~16.3	216.1~603.6
高速道路走行費用(円/台)	0~1,889	10,185~19,593
陸上輸送費用原単位(円/台)	22,360~22,360	74,170~165,530
トレーラー台数(台/年)	70,677	70,677
陸上輸送費用(千円/年)	1,619,629	11,742,781
陸上輸送費用削減便益(計)(千円/年)		10,123,152

## 【海上輸送費用】

項 目	With時	Without時
	尼崎西宮芦屋港	陸上輸送
貨物取扱量(千台数/年)	283	-
使用船型	2,800GT~16,053GT	-
海上輸送費用原単位(千円/台)	18~46	-
海上距離(マイル)	84~371	-
海上輸送費用(千円/年)	2,758,868	-
海上輸送費用削減便益(計)(千円/年)		-2,758,868
便益額【完成自動車】(計)(千円/年)		7,364,284



〔震災後の外貿バルク貨物による輸送コスト増大回避〕(原塩)

## 【陸上輸送費用】

項 目	With時	Without時
	尼崎西宮芦屋港	舞鶴港
貨物取扱量(千トﾝ/年)	46	46
輸送距離(km)	4	242
高速道路走行費用(円/台)	0	4,315
陸上輸送費用原単位(円/台)	15,380	59,230
使用台数(台/年)	4,600	4,600
陸上輸送費用(千円/年)	70,748	292,307
陸上輸送費用削減便益(計)(千円/年)		221,559

## 【海上輸送費用】

項 目	With時	Without時
	尼崎西宮芦屋港	舞鶴港
貨物取扱量(千トﾝ/年)	46	46
使用船型	30,000DWT	30,000DWT
年間寄港回数(回/年)	1.5	1.5
海上輸送費用原単位(千円/日・隻)	2,796	2,796
海上距離(マイル)	4,411	4,783
海上輸送費用(千円/年)	53,515	58,045
海上輸送費用削減便益(計)(千円/年)		4,530
便益額【原塩】(計)(千円/年)		226,089

〔震災後の外貿バルク貨物による輸送コスト増大回避〕(チタン鉱)

## 【陸上輸送費用】

項 目	With時	Without時
	尼崎西宮芦屋港	舞鶴港
貨物取扱量(千トﾝ/年)	150	150
輸送距離(km)	12	240
高速道路走行費用(円/台)	0	4,315
陸上輸送費用原単位(円/台)	15,380	56,490
使用台数(台/年)	15,000	15,000
陸上輸送費用(千円/年)	230,700	912,075
陸上輸送費用削減便益(計)(千円/年)		681,375

## 【海上輸送費用】

項 目	With時	Without時
	尼崎西宮芦屋港	舞鶴港
貨物取扱量(千トﾝ/年)	150	150
使用船型	30,000DWT	30,000DWT
年間寄港回数(回/年)	5	5
海上輸送費用原単位(千円/日・隻)	2,796	2,796
海上距離(マイル)	4,411	4,783
海上輸送費用(千円/年)	178,385	193,483
海上輸送費用削減便益(計)(千円/年)		15,098
便益額【チタン鉱】(計)(千円/年)		696,473

〔震災後の外貨バルク貨物による輸送コスト増大回避〕(鋼材②)

## 【陸上輸送費用】

項 目	With時	Without時
	尼崎西宮芦屋港	舞鶴港
貨物取扱量(千ト/年)	8	8
輸送距離(km)	11	242
高速道路走行費用(円/台)	1,889	4,315
陸上輸送費用原単位(円/台)	15,380	59,230
使用台数(台/年)	800	800
陸上輸送費用(千円/年)	13,815	50,836
陸上輸送費用削減便益(計)(千円/年)		37,021

## 【海上輸送費用】

項 目	With時	Without時
	尼崎西宮芦屋港	舞鶴港
貨物取扱量(千ト/年)	8	8
使用船型	30,000DWT	30,000DWT
年間寄港回数(回/年)	0.3	0.3
海上輸送費用原単位(千円/日・隻)	2,796	2,796
海上距離(マイル)	5,906	6,003
海上輸送費用(千円/年)	14,335	14,570
海上輸送費用削減便益(計)(千円/年)		235
便益額【鋼材②】(計)(千円/年)		37,256

〔震災後の内貨バルク貨物による輸送コスト増大回避〕(鋼材③)

## 【陸上輸送費用】

項 目	With時	Without時
	尼崎西宮芦屋港	舞鶴港
貨物取扱量(千ト/年)	21	21
輸送距離(km)	11	1,010
高速道路走行費用(円/台)	1,889	17,991
陸上輸送費用原単位(円/台)	15,380	167,460
使用台数(台/年)	2,100	2,100
陸上輸送費用(千円/年)	36,265	389,447
陸上輸送費用削減便益(計)(千円/年)		353,182

## 【海上輸送費用】

項 目	With時	Without時
	尼崎西宮芦屋港	舞鶴港
貨物取扱量(千ト/年)	21	21
使用船型	499GT	-
年間寄港回数(回/年)	23	-
海上輸送費用原単位(千円/日・隻)	707	-
海上距離(マイル)	364	-
海上輸送費用(千円/年)	25,039	-
海上輸送費用削減便益(計)(千円/年)		-25,039
便益額【鋼材③】(計)(千円/年)		328,143

輸送コスト削減便益額【全貨物】(計)(千円/年) (震災後—一般貨物輸送)	14,845,643
(地震発生確率考慮後)輸送コスト削減便益額【全貨物】(計)(千円/年) (震災後—一般貨物輸送) ※	396,800

※)地震発生確率考慮後の便益額は、評価期間中の最大年(H40)の値。

## 〔残存価値〕

プロジェクトの供用期間(50年)の終了とともに、その時点で残った資産は精算されると仮定する。本プロジェクトにおいて残存価値を計上できるふ頭用地、荷役機械および航路・泊地の残存価値を算出する。本プロジェクトの供用期間の終了と共に79.3億円の残存価値が発生する。

## 【ふ頭用地の残存価値】

項 目	With時	Without時
ふ頭用地の面積(m2)	72,000	-
土地単価(円/m2)	79,000	-
ふ頭用地の残存価格(億円)	56.9	-
ふ頭用地の残存価値(億円)	56.9	

## 【荷役機械の残存価値】

項 目	With時	Without時
荷役機械の耐用年数(年)	17	-
荷役機械の投資費用(年)	10	-
再投資からの経過年数(年)	9	-
荷役機械の土地価格(億円)	3.9	-
荷役機械の残存価値(億円)	3.9	

## 【航路・泊地の残存価値】

項 目	With時	Without時
航路・泊地の耐用年数(年)	50	-
航路・泊地の投資費用(年)	81.8	-
再投資からの経過年数(年)	42	-
航路・泊地の土地価格(億円)	18.5	-
航路・泊地の残存価値(億円)	18.5	

残存価値(計)(千円/年)	79.3	
---------------	------	--

## 尼崎西宮芦屋港尼崎地区国際物流ターミナル整備事業 事業費

## (1) 事業費

項目	数量	全体事業費 (億円)
工事費		162
岸壁(-12m)		88
基礎工	480m	43
本体工	480m	25
裏込及び裏埋工	480m	16
上部工	480m	2
舗装工	480m	1
付属工	480m	2
航路泊地(-12m)		74
浚渫工	962,000㎡	74
用地費及び補償費		
用地費		—
補償費		—
間接経費		16
合計(税込)		178

※1 港湾請負工事積算基準及び類似事業箇所の実績より算出している。

※2 各項目の事業費については表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

## (2) 管理運営費

項目	数量	全体事業費 (億円)
管理運営費	1式	5

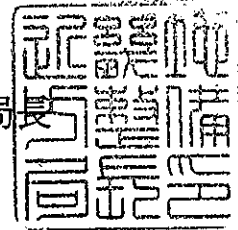
※ 港湾管理者へのヒアリングにより算出している。



国近整企画114号  
平成29年10月4日

兵庫県知事 殿

近畿地方整備局長



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針  
(原案)の作成に係る意見照会について(依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対する御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、近畿地方整備局事業評価監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成29年10月30日(月)に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成29年10月20日(金)までに、別紙について貴職の御意見を承りたく依頼いたします。

※御意見の送付・問い合わせ先

近畿地方整備局 企画部 企画課 事業評価係

電話 06-6942-1141

FAX 06-6942-7463

(再評価)

## 【海岸事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
東播海岸直轄海岸保全施設整備事業	事業継続	

※貴職の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

## 【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道175号西脇北バイパス	事業継続	
一般国道176号名塩道路	事業継続	

※貴職の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

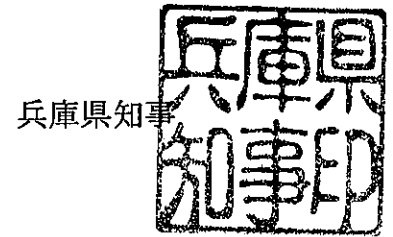
## 【港湾事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
尼崎西宮芦屋港尼崎地区国際物流ターミナル整備事業	事業継続	

※貴職の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

土 第 1470 号  
平成 29 年 10 月 20 日

近畿地方整備局長 様



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成  
に係る意見照会について（回答）

平成 29 年 10 月 4 日付け国近整企画 114 号で照会のありました標記の件につきまして、別紙のとおり回答します。

**【尼崎西宮芦屋港尼崎地区国際物流ターミナル整備事業】**

**兵庫県知事の意見**

尼崎西宮芦屋港の尼崎地区は、機械・金属・化学等の製造業が立地し、阪神間の物流、産業拠点として重要な役割を担っており、本事業はこれら拠点の強化に資するものである。

また、本事業により耐震強化岸壁が完成し、災害時の緊急物資の海上輸送が可能となる拠点が確保され、地域の安全・安心が向上した。

岸壁の機能を最大限発揮するとともに、岸壁背後にある港湾関連用地において、地域経済を牽引する企業の円滑な立地を推進するためにも、残る航路・泊地の整備について、早期完成に向け取り組んでいただきたい。

なお、航路・泊地の浚渫については、尼崎沖フェニックスを処分先とし、コスト縮減にも配慮した事業進捗をお願いしたい。